

平成28年台風10号における消防団の活動①

平成28年9月
消防庁

※実団員数及び分団数は平成28年4月1日現在（速報値）

平成28年8月30日に東北地方へ上陸した台風10号により、河川の氾濫による浸水、土砂崩れなど甚大な被害が発生。各消防団は、台風上陸前から避難誘導・警戒活動等を行うとともに、救助活動や避難所支援活動を実施。台風通過後においても、安否確認や行方不明者の捜索など地域の安心・安全を守るための幅広い活動を実施。

消防団の活動人員（※速報値）

※平成28年9月29日現在、消防庁による

○北海道	延べ活動人員	約	500名	（8月29日～9月14日）
	最大活動時人員	約	300名	（8月31日）
○岩手県	延べ活動人員	約	2,700名	（8月29日～9月16日）
	最大活動時人員	約	750名	（8月30日）



【行方不明者の捜索】
（とちぎ広域消防事務組合管内消防団）

消防団の主な活動

- ・土嚢積み、水門点検・開閉
- ・警戒活動：警戒巡視、早期避難の呼びかけ
- ・排水作業：ポンプを活用した排水作業
- ・避難誘導、避難指示発令広報、女性消防団員による避難所支援
- ・救助活動：床上浸水の家屋からボートによる救助（救助人数22名、消防職員の補助含む）
- ・安否確認、行方不明者の捜索、被害状況調査など



【行方不明者の捜索】
（岩泉町消防団）

とちぎ広域消防事務組合（19市町村）管内消防団【実団員数2,016人 分団数65分団】

【主な動き】

○8月30日より、土嚢積みや警戒活動、避難誘導、避難所支援活動等を実施。8月31日以降はボートによる救助活動の補助、排水作業、捜索活動等を実施し、9月5日には主な対応を完了。

【活動の詳細】

- ・土嚢積み
- ・警戒活動、避難誘導、女性消防団員による避難所支援活動
- ・排水作業
- ・救助活動：ボートでの救助を補助（救助人数10名、消防職員の補助含む）
- ・安否確認、捜索活動等

平成28年台風10号における消防団の活動②

久慈市消防団【実団員数785人 分団数20分団】

※実団員数及び分団数は平成28年4月1日現在（速報値）

【主な動き】

- 8月29日午後より、土嚢積みを実施。
- 8月30日午前より、水門点検、警戒活動や避難呼びかけ・避難誘導等を実施。同日夜には床上浸水の家屋からのボートによる救助や、床上浸水となった家屋からの排水作業等を実施。
- 8月31日朝には、被害状況の調査・安否確認を開始するとともに、引き続き排水作業。
- 9月1日以降は安否確認、警戒活動、排水作業や清掃作業を実施し、9月5日には主な対応を完了。

【活動の詳細】

- ・土嚢積み、水門点検・開閉
- ・警戒活動：警戒巡視、早期避難の呼びかけ
- ・排水作業：ポンプ（ポンプ車等）を活用し浸水を排水
- ・避難誘導、避難指示発令広報
- ・救助活動：自力で避難できない住民を3名、別の場所では、床上浸水の家屋からボートで3名を救助（消防職員の補助を含む）
- ・安否確認、被害状況調査（床上・床下浸水調査など）
- ・その他（倒木撤去作業など）



【排水作業】（久慈市消防団）

岩泉町消防団【実団員数539人 分団数8分団】

【主な動き】

- 8月29日より、警戒活動を開始し、8月30日には、警戒活動に加え、土嚢積みや避難誘導等を実施。
- 8月31日には、警戒活動及び安否確認を実施。
- 9月2日以降は、安否確認を継続するとともに、捜索活動を実施し、9月10日には主な対応を完了。

【活動の詳細】

- ・土嚢積み、水門点検・開閉
- ・警戒活動：警戒巡視、早期避難の呼びかけ
- ・排水作業：ポンプ（ポンプ車等）を活用し浸水を排水
- ・避難誘導、避難指示発令広報
- ・救助活動：建物2階部分から2名、別の場所では、建物2階部分から3名を救助。ほかに1人（流された者）を救出し、消防職員の搬送作業を補助。
- ・消火活動：流されたガスボンベからの出火を水バケツにより消火
- ・安否確認、捜索活動
- ・その他（がれき・流木撤去作業、清掃作業など）